

令和 5 年度半田市市民活動助成金審査会(二次募集) 第 1 次審査 議事録

日時	令和 5 年 5 月 25 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分
場所	半田市市民交流センター
会議次第	1. あいさつ 2. 第 1 次審査 (書類審査) ・はじめの一步部門 4 団体 3. その他 ・第 2 次審査について
委員	(委員長) 千頭聡(日本福祉大学 国際福祉開発学部 特任教授) (委 員) 戸田愛 (非営利活動法人ぱれっと 副理事長) 曽根香奈子 (一般社団法人 SDGs design 代表理事) 企画部長：山田宰、市民協働課長：藤井寿芳 ※敬称略
事務局	市民協働課主幹：竹内雅香子 主事：天野利紀、村瀬有佳子
次第	議事概要
1.あいさつ	主幹あいさつ
2.第 1 次審査 (書類審査) ・はじめの一步 部門	<NPO 婚活父母の会> 【事務局説明】 提案事業に関する団体からの聞き取り内容について補足説明 【委員からの意見・確認事項】 ・団体の活動目的は理解できるが、行政や民間サービスとは違う市民活動としてどういうところを担うかという点が具体的に読み取れない。 ・団体の広報のみの事業としか読み取れないため、広報を通して、どのような地域課題を解決していくのか具体的な活動内容が分からない。 ・集めた個人情報はどう扱うか、適切な管理が行われるかという点が読み取れない。 ・子どもに関する記述 (「供給」等の表現) に疑問が残る。 <やなべ区地域猫ボランティア> 【事務局説明】 提案事業に関する団体からの聞き取り内容について補足説明 【委員からの意見・確認事項】

	・TNR 以外の活動は行っているのか。見守り活動も適切に行われているのか。 ・環境課との連携はとれているか。 <tartar comodo> 【事務局説明】 提案事業に関する団体からの聞き取り内容について補足説明 【委員からの意見・確認事項】 ・イベントには会場使用料が発生するという理解でいいか。 ・ひとり親世帯へはどのようにアプローチしていく予定か。 ・ひとり親世帯に限らず、親子や高齢者の参加を募る意図を団体から詳しく聞きたい。 <特定非営利活動法人 AYUDAME A AYUDAR> 【事務局説明】 提案事業に関する団体からの聞き取り内容について補足説明 【委員からの意見・確認事項】 ・助成金が無くなった際も持続的に活動を行うことは可能か。 ・生活援護課との連携はあるか。 ・地域社会定着促進事業とはどのような活動を想定しているか。 ・点在するフードバンク情報を集約してつなげていくような活動イメージは持っているか。 【審査結果】 評価合計点数が評価基準点を満たした 3 団体（やなべ区地域猫ボランティア、tartar comodo、特定非営利活動法人 AYUDAME A AYUDAR）を第 1 次審査通過とし、評価基準点を満たさなかった 1 団体（NPO 婚活父母の会）を不採択とする。
3.その他	第 2 次審査の実施方法について事務局から説明

講評等

やなべ区地域猫ボランティア	（第 2 次審査に向けての質問事項） ・TNR 以外の活動、例えばリリース後の見守りや、地域への広報活動等はどうに行っていますか。
tartar comodo	（第 2 次審査に向けての質問事項） ・今回の申請には会場使用料が計上されていますが、団体自体の決算書に

	は会場使用料が計上されていません。普段のおやこ食堂は会場使用料が不要で、イベントには会場使用料が発生するという理解でいいですか。 ・ひとり親世帯へは、どのようにアプローチしていく(広報していく)予定ですか。 ・参加対象者をひとり親世帯に限定せず、親子や高齢者などの参加も募ることの意味や意義を説明してください。 ・既に実施したおやこ食堂は、人数・雰囲気など含めてどのような様子でしたか。
特定非営利活動法人 AYUDAME A AYUDAR	(第2次審査に向けての質問事項) ・今回申請された助成金(はじめの一步部門)は今年度限り、ステップアップ部門等での対象事業としても最大3年間しか申請できません。助成金がなくなった(終わった)後も、持続的に活動を行うことは可能ですか。 ・半田市役所生活援護課(生活困窮・生活保護関係課)とはすでに何か連携していますか。 ・審査には直接関係ありませんが、この助成金をどのようにして知ったか教えてください。 ・団体の定款にある「地域社会定着促進事業」とはどのような取組を想定しますか。 ・小田原のフードバンクまで食料などを取りに行く計画となっています。小田原のフードバンクへわざわざ行く理由を教えてください。また他のフードバンクと何か違いがありますか
NPO 婚活父母の会	(審査講評) 貴団体の活動目的自体は理解でき、「課題・問題把握の妥当性」については、他の観点に比べ一定の評価を得ることができました。 一方で、提案事業が「団体の存在のPR」のみでは、市民ニーズや地域課題への影響及び効果が、活動目的に対し非常に限定的であると評価され、「公益性・地域性」、「投入資源の適切性・実現可能性」、「事業効果の具体性・発展性・波及性」、「活動の将来性」の観点では基準点を満たしていませんでした。 提案事業とする活動内容を具体的にいただき、改めて助成金の活用をご検討いただけたらと存じます。特に、貴団体の活動には個人情報の取扱いが含まれていますので、より慎重な管理が重要となる点にもご注意くださいながら、今後も活動に取り組んでいただきたいと存じます。